歴史の道 高野参詣道（ちょういしみち）町石道

平安時代、空海が真言密教の根本道場として開創して以来、高野山は現世浄土として広く信仰を集めている。古くからこの聖地へ向かう道は幾本もあったが、それらは山に近づくにつれて合流、七つの道に集約されて山内に入っていく。その七つのうち九度山の慈尊院から山上西口の大門へ通じる表参道を町石道といい、開山のおり空海が木製の卒塔婆を建てて道しるべとした道である。

鎌倉時代になって、朽ちた木の代わりに石造り五輪塔形の町石が一町（約109m）ごとに建てられた。町石は高さ3m、30cm角の花崗岩。山上の根本大塔を基点にし、慈尊院の石段途中を最後に180町石を建て、胎蔵界180尊にあて、さらに大塔から奥之院までの36町石を設け、金剛界37尊とした。現在も梵字が刻まれた町石が残っている。はるばる参拝にこられた人々は、空海自身が登ったこの道にたどり着いたとき、どんな心持だっただろう。37尊、180尊を表す町石自体が信仰の対象で、1町ごとに合掌しながら登山したという。天皇、上皇から庶民まで参拝登山したこの道は、まさしく祈りの道、信仰の道であった。

さて、山上は天下の霊場117の寺院や堂塔大伽藍があり、天然記念物でもある奥之院参道の杉並木の下には、諸大名をはじめとする数十万基もの供養碑や歌碑、句碑がひっそりと立ちならび、心鎮まる別世界である。奥之院は大師信仰の聖域で、空海の廟所までの約2kmにわたる杉並木の参道が続き、重要文化財指定の経堂や、貧女の一燈がともる燈籠堂などがある。

金剛峯寺は全国に3600寺もある高野山真言宗の総本山で豊臣秀吉が母の菩提を弔うために建てた桧皮葺きの荘厳な建物。壇上伽藍は、本尊胎蔵界大日如来と金剛界四仏を安置する巨大な根本大塔を中心にして、御影堂、金堂などが立ち並ぶ。宇治平等院を模した優美な霊宝館は、山内諸寺に伝わる25,000点もの文化財を保管、展示している。国宝や重要文化財も多い。大門は高野山の総門で5間重層の表参道の大楼門。高野山町石道は、なお、ここから山内に入り、奥之院参道をへて御廟にいたる。
この道は、平成16年7月に世界遺産に登録された。

	町石番号	エリア	町石数		町石番号	エリア	町石数
奥之院側	1～36	高　野	36	慈尊院側	109～115	かつらぎ	7
慈尊院側	1～90	高　野	90		116～120	九度山	5
	91～95	九度山	5		121～144	かつらぎ	24
	96	高　野	1		145～146	九度山	2
	97～106	かつらぎ	10		147～163	かつらぎ	17
	107･108	九度山	2		164～180	九度山	17

凡例：トイレ／AED／休憩所／道の駅／朝日・夕日100選 見晴らしポイント／駐車場

春の花　真田庵……ボタン 4月下旬
慈尊院……サクラ 4月上旬～中旬
丹生官省符神社…サクラ 4月上旬～中旬
丹生都比売神社…サクラ 4月上旬～中旬
金剛峯寺……サクラ 4月中旬～下旬
金剛三昧院……シャクナゲ 4月中旬～下旬
夏の花　紙遊苑……アサガオ 7月～8月
秋の花　高野山周辺各所…紅　葉 10月下旬～11月中旬

■道の駅柿の郷くどやま A-3

■松山常次郎記念館 A-3

■慈尊院 A-3

■展望台 A-2

■丹生官省符神社 A-3

■勝利寺 A-2

■物産販売所 C-1「ようよって」

■真田庵 A-3

■紙遊苑 A-2

■上古沢駅

町石道を歩くにあたって、九度山駅から高野山まで一気に歩く、健脚向きコースか、この駅を分岐点として分割で歩くといった楽しみ方もあります。

この場合は…

◎第1日目のルートとして
九度山駅～古峠～上古沢駅
（途中、丹生都比売神社を経由します）

◎第2日目のルートとして
上古沢駅～古峠
～大門～弘法大師御廟

■丹生都比売神社

古くからこの神社に参拝したのちに高野山へ上ることが習わしであった。この神社を分岐点として分割で歩くこともできます。

この場合は…

◎第1日目のルートとして
九度山駅～六本杉（または二ツ鳥居）
～丹生都比売神社
（帰りは笠田駅へコミュニティバスで約30分）

◎第2日目のルートとして
丹生都比売神社～二ツ鳥居（または六本杉）～大門
（行きは笠田駅からコミュニティバスで約30分）

高野七口（高野参詣道）

弘法大師空海入定以来、高野浄土信仰の広まりとともに、人々の参拝が盛んになり、参拝者がたどった高野山への道で、主な七つの道を高野七口とよばれていた。なお、高野山は女人禁制であったため女性は山内に入れず、各入口には女性のための籠り堂として女人堂がつくられ、女人信者は御廟を拝みたいと八葉蓮華の峰々をめぐる女人道をたどったといわれている。現在は不動坂口にのみ女人堂が残っているが、他の入口にも女人堂跡は残っている。

1 大 門 口　西口、大門また矢立口といわれ、和歌山口、麻生津口を含む道。
2 不動坂口　京口また学文路方面道を集約したもの。
3 黒 河 口　大和口または粉撞峠口ともいわれていた道。
4 龍 神 口　湯川口、保田口、梁瀬口ともいわれていた道。
5 相の浦口　南谷方面を指し、水上峠、大松峠などの道。
6 大 滝 口　熊野口ともいい、南のろくろ峠を含む道。
7 大 峰 口　東口、野川口を含む道。

■女人堂 E-4

■徳川家霊台 E-4

■金剛峯寺 E-4

■裂裟掛石 E-2

■押上石 E-2

■鏡石 E-3

■金剛三昧院 E-4

■高野山周辺各所

■高野龍神スカイライン

■大門 E-4

■奥之院参道 E-5～D-5

■壇上伽藍 E-4

■根本大塔・御影堂・准胝堂

■孔雀堂

■三鈷の松

■金堂

■六角経蔵

■大塔の鐘（高野四郎）

■山王院

高野参詣道町石道（世界遺産）と五輪塔

空 風 火 水 地

仏教では、「宇宙を形成する物質は、空・風・火・水・地の五つの要素からなる。」と説かれている。この五つの構成要素を宝珠、半月、笠、円、方形にかたどったものが五輪塔である。それぞれの部分に空・風・火・水・地を意味する梵字（サンスクリット文字）が刻まれている。
奥之院参道には、多くの五輪塔形の墓碑が見受けられる。

～高野参詣道町石道をみんなで守りましょう～

世界遺産は人類にとって共通のかけがえのない宝物であり、私たちが未来の人々に引き継いでいかなければならない貴重な文化財やすばらしい自然です。町石道を傷付けず大切に歩きましょう。異常を見かけたら裏面のお問い合わせまでお知らせください。